

工事等現場での事故撲滅を目指して

令和6年度湯沢砂防事務所安全対策協議会役員会を開催

湯沢砂防事務所では、受注者・発注者一体となり、発注工事・業務における事故防止を目的に「湯沢砂防事務所安全対策協議会」を組織し、様々な活動を行っています。その活動の一環で、6月25日（火）に、安全対策協議会役員会を開催しました。

冒頭、協議会会長である松本事務所長から、昨年度湯沢砂防事務所管内では会員の皆様方の努力により工事事故「ゼロ」であったこと、一方で、北陸地整管内で発生した事故では墜落事故が増加傾向にあることから、引き続き現場の安全意識の向上を図ることが重要であることを確認されました。

また、北陸地整全体で取り組んでいる、時間外労働上限規制の適用に伴う適正な工期による契約の推進や受注者の書類作成の負担軽減を目的とした「工事書類スリム化ガイド」の現場への浸透なども事務所もしっかりと取り組んでいくとされました。

会議では、令和6年度の新役員の指名、令和5年度の活動報告及び令和6年度の活動計画が報告されました。令和6年度新たに選出された代表会社からの諸役員は、以下のとおりです（敬称略）。

- 協議会副会長（株式会社文明屋 代表取締役 大野 康）
- 破間川副分会長（魚沼産業株式会社 代表取締役 穴沢 勤）
- 中津川副分会長（上村建設工業株式会社 建築部長 藤ノ木 正人）
- 湯沢副分会長（株式会社笛田組 常務取締役 井口 元洋）



安全対策協議会会長（松本事務所長）挨拶



役員会の様子